



平成24年2月17日
多摩市立豊ヶ丘小学校
校長 小林 佳世
栄養教諭 早乙女 理恵
No.25

寒さの厳しい日が続いています。市内ではインフルエンザによる学級閉鎖がありますが、豊ヶ丘小学校の児童は元気いっぱいです。すばらしい！

理研のわかめ授業

2月9日に理研によるわかめの授業を、5年生対象に行いました。家庭科担当の櫻井先生がわかめに関するクイズを2問出しました。第一問、日本人はどのくらい前からわかめを食べていたでしょうか？①約100年前 ②約500年前 ③約9000年前。第2問、日本でわかめがよく採れる県はどこでしょう。正解は、第一問は③の約9000年前、第2問は1位が岩手県、2位が宮城県、3位が徳島県です。その後わかめ博士が登場し、海から採れたわかめの大きさや色のクイズが出されました。大きさは1m、3m、5m、色は緑、黒と答えた児童が多かったです。そして2日前に海で採れたわかめの源藻を持ってきてくれ、実際に触ったり、においをかいだり、色などじっくり観察しました。「海の匂い！」「磯の香り」「大きい！」「ぬるぬるしてる」「プニプニだよ」と色々な感想が出たので、それは各自ワークシートに記入しました。今回持ってきていただいた源藻は3m12cmもある、立派なものでした。ちなみにわかめは大きいもので3m50cmくらいだそうです。



次は実験です。海から上がったばかりのわかめは茶色なのですが、熱湯につけるとあっという間に緑に変わります。ひとり1本、わかめの葉をもち



らいお湯につけて実験しました。「あっという間に色が変わった」また大歓声。最後はわかめのヌルヌルの秘密です。ヌルヌルの正体は食物繊維ですが、腸のなかで食物繊維がコレステロールや塩分をとりこんで、体の外に出してくれます。その仕組みをスライムとスーパーボールを使った模型で見ました。



楽しい授業でしたが、岩手県、宮城県は3月11日の津波で漁港が流されてしまい、わかめも壊滅的な打撃を受けてしまいました。しかし最近、ようやくわかめの赤ちゃんを棚に植え付けて養殖の再開のめどが立ってきたそうです。その話を児童は真剣な顔で聞いていました。わかめの源藻は乾燥させて、家庭科室の廊下に展示してあります。ぜひご覧ください！



食育フェスタ

2月18、19日に聖蹟桜ヶ丘のショッピングセンターA館6Fアウラホールで行われます。豊ヶ丘小の食育実践を出展しています。他にも学校や企業が出展しています。給食センターからも試食を出しています。ぜひ足を運んでみてください。